

領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題: 嗜好品の文化的・社会的意味
- ◆研究テーマ: 「嗜好品」とは何か? —嗜好品に関する学際的研究と文献データベース構築を通して

研究期間: H29.10~H32.9
委託費総額: 13,163千円

<研究代表者>

松原豊彦: 立命館大学経済学部/教授



<専門分野>

農業の第6次産業化、アグリビジネス

<Webページ>

<http://research-db.ritsumeai.ac.jp/Profiles/35/0003401/profile.html>

<研究目的・概要>

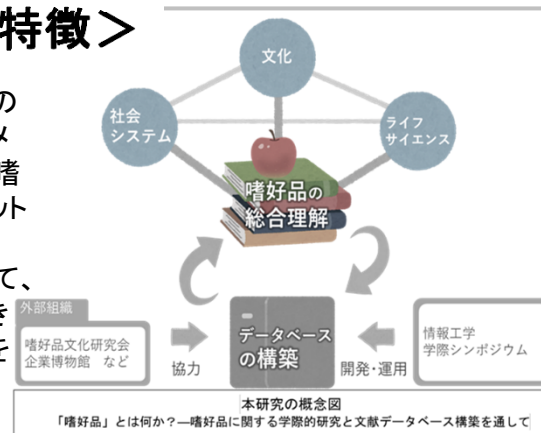
・嗜好品は、その実体は世界の諸地域においても、時代の推移においても多様である。本研究においては、「嗜好品」とは何か、を人文科学、社会科学、自然科学分野から学際的、総合的に明らかにする。

- ・嗜好品に関する学際的研究会を運営する
- ・各分野の中心的研究動向を整理する
- ・文献データベースを作成する
- ・データベースを公開し、成果の発信を図る

学際的な嗜好品データベースの利用による、イノベーティブな嗜好品開発を促進する。

<研究計画の特徴>

- ・日本初の人文社会系の食マネジメント学部のメンバーが中核になり、嗜好品の学際的研究ネットワークを形成。
- ・データベースを作成して、分野横断的に利用できる嗜好品の共通体系を構築する。



<目標とする研究成果>

(1) 嗜好品の新たな位置づけを構築する。

地域や時代において多様だった嗜好品の概念を物の定義ではなく、文化・社会との関係からとらえなおす、学際的な定義を確立する。

(2) 学際データベースを作る

得られた共通の嗜好品の定義に基づき整理された、他分野から検索が容易な文献データベースを構築する。

<将来展望>

・本データベースと嗜好品の新たな位置づけにより嗜好品の高付加価値化を実現する。